

令和5年度 第4回瀬戸市環境衛生審議会議事録		
日 時	令和6年2月20日(火) 午後2時から4時まで	
場 所	瀬戸市役所1階 103・104・105 会議室	
出席者	委 員	出席者：小林委員、藤井委員、伊藤委員、服部委員、加藤委員、萱岡委員(web)、古謝委員(web)
	事務局	篠田市民生活部長 (環境課)加藤課長、小川課長補佐、ごみ減量係 平川主査、池内主任
	計画策定 受託者	(中日本建設コンサルタント(株)) 山田、佐伯
傍聴者		なし
1 開会		
<ul style="list-style-type: none"> ・小川補佐から会議成立の報告 ・篠田部長から挨拶 ・小林会長から挨拶 		
2 議事		
(1) 報告事項		
① ごみ排出量等の報告について		
令和5年度総ごみ排出量の実績及び資源物収集実績について事務局より報告した。		
会長	<p>ただ今の報告について、質問等はいかがか。</p> <p>プラスチック製容器包装やミックスペーパーの収集量が増えている一方で、リサイクルできない量も増えているとの説明であった。リサイクルできない量が増えるとどうなるかを市民に伝えた方が良いのではないか。手選別していることなどを市民に伝えた方が良い。写真や動画などを使って協力の依頼をすると良いと考える。</p> <p>他にはいかがか。</p>	
副会長	資料のプラスチック製容器包装・ミックスペーパー収集実績のグラフの項目は、左から年次順とした方が示し方として良いのではないか。以後、修正をお願いしたい。	
会長	燃えるごみ処理量のグラフも同様である。 ごみ全体の量は3%程度減っている。これが継続すれば大幅な減量になり、決して減少量が小さいとは思わない。このまま継続できればと思う。他に意見がないため、協議事項に移る。	
(2) 協議事項		
① 令和6年度～令和15年度 瀬戸市一般廃棄物処理基本計画(案)について		
パブリックコメントの実施結果と意見に対する市の方向性について事務局より報告した。		

会長	<p>ただ今の報告について、質問等はあるか。</p> <p>丁寧かつ建設的に回答してあるため、失礼はないかと思う。</p> <p>これから審議する計画案は、この意見を反映したものである。それでは、計画案の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>計画案については、パブリックコメントを受けた修正の他に、委員の意見・指摘を受けて修正した箇所もある。詳細は中日本建設コンサルタント様より説明をお願いします。また、当日配布資料として製本イメージ版と概要版も配布しているため、併せて説明をお願いします。</p>
<p>計画案の修正内容、製本イメージ版及び概要版について、中日本建設コンサルタントより報告した。</p>	
会長	<p>ただ今の説明について、質問等はあるか。</p> <p>私から、概要版の目標値について、何%削減するかを追記してほしい。また、資源物を含めてごみだということを伝えるために、指標の一番上に資源物を含んだ総ごみ1人1日あたり排出量を追加してほしい。他自治体と比較する場合は、資源物を含んだ値で比べるべきだと考える。次の計画では、リサイクルをしっかりと行なうことが施策にあるが、リサイクルすれば良いということでもないと考えるが、いかがか。</p>
事務局	<p>目標値に併記する形で追記する。</p>
会長	<p>本編に令和15年度の人口見込みも追記してほしい。資料編を見なくても、目標値を人口で割ると1人1日あたり排出量が計算できるようにしたい。また、資源化率について、16.2%を27.8%と増減量11.6%となっているが、数字を16%、28%にできないか。検討してほしい。</p> <p>概要版について、⑥目標達成に向けた役割イメージの字が小さい。本編の抜粋であるが、概要版にあった形にしてはいかがか。ごみの発生抑制・資源物分別効果のイメージも同様に字が小さい。できるだけ、文字は大きくしてほしい。</p> <p>他にはいかがか。</p>
副会長	<p>本編の12頁で、市民と家庭の用語を統一したとあるが、その区別についてもう一度説明をお願いしたい。家庭と事業者のふたつで今後議論を進めるといふことか。計画の後半には、市民という言葉が使われている。</p>
中日本建設コンサルタント	<p>修正前は、12頁の2行目のみが市民、以降は家庭であったため文言を家庭に統一した。</p>
副会長	<p>承知した。また、今回から資源化率を国の算出方法に変えたとのことだが、資源物量は、家庭ごみとして出てくる物しかないということによいか。</p>
事務局	<p>家庭から排出されたものを市がステーション回収、拠点回収して処理しているものとなる。事業者から排出されるものは産業廃棄物となる。</p>
副会長	<p>そのことが市民に伝わるか。事業者が見た時に、資源化率に対し寄与できる部分があると受け取られないか。分母となる総ごみ量は事業系ごみも含</p>

	んでいるため、寄与できる部分はあるかもしれない。分かり易い表現ができればと感じた。一般的に、他の自治体でも資源化率の表記はこのような形なのか。
中日本建設コンサルタント	資源化量としては、市が回収する量、集団回収の量、中間処理施設からの資源回収量が一般的な表現である。
副会長	総ごみ量で割ることも国の考え方であり、他の市町村でも同様の考えなのか。
中日本建設コンサルタント	一般廃棄物処理実態調査という形で、国が全国の自治体のデータを公表しているが、そこでの算出方法も同様である。他の自治体との比較を考えると、今回の形が分かり易いと考えている。
会長	この計画を誰が見るかとなると、事業系一般廃棄物とは何か、晴丘センターに持ち込めないものは何か、一般廃棄物と産業廃棄物の違いなどの情報を資料編に追加してもよいのではないか。関心のある人は、資料編を見るように誘導するような形にしてはいかがか。 晴丘センターへの持込みの費用は、家庭系も事業系も同じなのか。
事務局	最低料金の設定が異なっていたと思う。
会長	その資料もぜひ追加してほしい。
委員	役割の図で、基本方針1、2、3が黄色、緑、青であり、市民、事業者、行政も同じく黄色、緑、青となっている。市民が基本方針1、事業者が基本方針2のように捉えて混乱した。色を一緒にすることでリンクするため、色を変えてはいかがか。リンクさせるなどの意図はあるのか。
中日本建設コンサルタント	そのような意図はないため、修正する。
委員	質問ではないが、丁寧に作っていただきありがとうございました。 基本理念である「ごみを減らして資源を循環させるまち せと」が実現できると良いと思う。
会長	その姿が市民に伝わるように、どう広報していくかが重要になる。 資源化率の数字の把握は難しいと思うが、指標の中で資源化率が大きく上がっており、それが基本理念につながると感じてもらえると思う。 他にいかがか。
副会長	38、39 頁の目標達成のための基本的事項について、基本理念には実践、実感、実現とあるが、本文の見出しには実践、実感はあるが実現がない。本文をよく見れば実現もあるが、本文中の実現に括弧をつけるか、協働の見出しに実現を加えてはいかがか。
中日本建設コンサルタント	協働の見出しに実現を加え、本文中の実践、実感、実現に括弧を付けるなど目立たせるよう修正する。
副会長	105 頁、表 4-1 の 2 次指数曲線の式の括弧が罫線とかぶっている。

中日本建設コンサルタント	修正する。
委員	<p>概要版を使って説明する際に、最終頁の数値目標の目標値は 5,305t 減量とインパクトがあるが、指標は数字の羅列で理解しにくい。資源物は、プラスチック製容器包装などのことを指すと思うが、一般の人に話すときに分かってもらえるのか。資源化率を上げるためには何が必要か、このようなことをすると良いなどもあると分かり易い。</p> <p>また、瀬戸は中小企業が多いが、町工場などのごみは家庭系、事業系のどちらか。町工場の人が、家庭の集積所にごみを出していることはよくあると思う。事業系ごみがどういったものか書かないと一般の人には理解が難しい。</p> <p>また、字が小さいことや色合いは修正するということでよいか。</p>
中日本建設コンサルタント	字の大きさや色合いは修正する。
会長	<p>目標達成に向けた役割のイメージは必要か。前頁にも記載があるため、削除してもよいのではないか。</p> <p>また、指標の記載順について、事業系ごみ排出量の下に資源化率があるが、資源化率に事業系ごみは関係しないため、事業系ごみを一番下とし、最終処分量は情報を伝えるだけの項目であるため概要版から削除してはいかがか。</p> <p>上から順に全体量、資源物を含む量、資源物を除く量、リサイクルする量とすると、全体はこれ、資源を除いた量がこれ、そのためにはリサイクルを頑張る必要があるといった説明がしやすいのではないか。指標の一番上には資源を含んだ総ごみ 1 人 1 日あたり排出量を加えるべきではないか。</p> <p>また、資源物除くだけでなく、資源物含むと書いた方がよいのではないか。資源化率も家庭系ごみのなどを付けた方が良いと思うが、適切か。</p>
中日本建設コンサルタント	資源化率は、総ごみ量に対して回収した資源がどれだけかを出しているため、分母側に事業系ごみが含まれる。資源物量は家庭系だけであるが、総ごみは事業系も含んでおり、家庭系の資源化率とは言いにくい。
会長	数字の設定が良くないのか。
中日本建設コンサルタント	会長の意見もごもっともであるが、この資源化率は国が昔から使っており、全国的な指標でもある。
副会長	前計画では、家庭系ごみの資源化率としていたのか。
中日本建設コンサルタント	その通りである。

副会長	今回から、資源化率が総ごみに対する資源物量に変更したことが伝わるのか。結局、家庭系ごみが分子であり、分母が総ごみであっても家庭系ごみであっても、どれだけ資源化されているかを表していることは変わらない。家庭系ごみの資源化率と言っても良いのではないかとも思う。家庭系ごみといえと、会長のご意見のとおり事業系ごみの前に記載するのが良いと思う。
会長	資源化するの家庭系ごみであるため、家庭系ごみとは付けずに事業系ごみの上に記載すれば意図は伝わると思う。その方向でよろしいか。
中日本建設コンサルタント	ご意見のとおり修正する。
副会長	資源を含んだ総ごみ1人1日あたり排出量についても加えることでよいか。
会長	先ほど目標値の下に入れることとなったが、指標の一番上に追加してほしい。
事務局	ご意見のとおり修正する。併せて目標及び指標の設定理由の表にも追記を行う。
会長	確認だが、概要版から目標達成に向けた役割のイメージを削除する方向で良いか。
委員	削除しても良いかは分からないが、削除した方が見やすく分かりやすくなれば削除しても良いと思う。
委員	削除した方が見やすくなると思う。
事務局	市民・事業者・行政が関わりながら目標達成に向かっていくことが重要だという意図から、役割のイメージを概要版にも掲載した。概要版のどこかに、役割について記載する形で修正できればと思う。
会長	イラストを用いて三者で取り組んでいくというメッセージを追加してはどうか。 また、表紙の絵の作者について、計画の最後に作者名を載せるべきではないか。検討してほしい。
委員	目標達成に向けた施策 基本方針2 施策II あらゆる資源回収機会の活用の①事業所と連携した資源回収の普及促進とあるが、事業所は何を指すのか。ドラックストアなどの店頭回収は事業所であるが、家の近くの資源回収ステーションは空き地を活用したところが多く、事業所以外のところもあると思う。
事務局	事業者という書き方が適切であるため修正する。
委員	市民の力を借りないとごみ減量や資源化は進まないと思う。ごみの中にあるいろいろな物が混入しているなどの課題もあるため、分別の大切さを市民に理解させる、市民に対して分別方法を浸透させるような施策を考えて欲しい。

事務局	基本計画の45頁施策I-①のごみの分別に係る積極的な情報発信として、ご意見のように分かりやすい情報提供の施策について記載している。
会長	3Rの意義は44頁に記載があり、大きな方針としては45頁に記載がある。来年度から施策として進めるときに、委員の意見に留意し、市民にしっかり伝えていってほしい。
事務局	3月広報に、ごみ量の推移としてプラスチック製容器包装とミックスペーパーの回収量が増えているが、不適物も増えている状況を写真付きで掲載する予定である。数値的なものを含めて状況を説明し、どうして欲しいかを伝えることが重要であると考えている。今後は根気強く取り組んでいきたい。
委員	企業に対する広報の配布状況はどうか。
事務局	広報は市民に対して配布しており、企業には届いていないと思う。
委員	商工会議所の会員は2,000件程度、全体の4割程度である。市の広報も届かない場合、どのような周知の手段かあるか。新聞も取っていないところが多くあり、来年に向けての課題だと思う。
委員	先日のごみ減量推進会議で、事務局から総ごみ排出量を毎月広報に載せると聞いたが本当か。
事務局	広報に人口推移の掲載があり、そのような形でごみに関する推移を載せたいという意向はある。ごみの総量を掲載することが決定したわけではない。
委員	事務局からは、掲載について環境衛生審議会で決定したと説明があったが、なぜ審議をしていないことが決定したのか。
事務局	そのようなことは無い。 組織内部の要望で、ごみについて、例えば今月は1人あたりリンゴ1個分ごみが増えた、などが載せられないかということである。その場合、燃えるごみ量ではなく、総ごみ量で伝えていくべきだと考えている。
委員	総ごみ量自体が減らないと、ごみが減ったことにならない。分別したことでごみが減ったように見えるだけだということうまく市民に伝えてほしい。
事務局	ご意見ありがとうございます。
会長	今の点について、私が気にしている点は10年後の施設の設計値に影響する燃やすごみの量である。燃やすごみの量は資源を除いた量であり、それを減らすことが重要だということが本音である。組合からは、本当にごみ減量できるかと言われている。そのためには、お金がかかってもリサイクルすることにもなりかねない。リサイクル技術も進んでいるため、将来的には、汚れているプラスチックでもリサイクルできる技術ができると思う。汚れていても排出できるようになれば、燃やしごみを減らすことは可能だと考える。新しいごみ処理施設の建設時期は決まっている。総ごみを

	<p>減らすこと、リサイクルに取り組むこと両方に取り組んでいく必要がある。</p> <p>プラスチックのリサイクルについては、水素に変える事業が愛知県内で2028年から稼働する予定である。そこで汚れたものが処理できるかは分からないが、瀬戸市が連携することができればプラスチックのリサイクルも進むと考える。私も働きかけている。紙おむつも同様である。これらが進めば、燃えるごみはかなり減ると思う。</p> <p>その他に意見がないようであるため、基本計画案については、先ほど意見の内容を修正したものを認めていただくことでよろしいか。</p>
全員	(異議なし)
② 令和6年度一般廃棄物処理実施計画について	
令和6年度一般廃棄物処理実施計画案について、事務局より説明した。	
会長	<p>ただ今の説明について、質問等はあるか。</p> <p>今年度からの変更点は、排出見込み量、持込みごみを家庭系へ計上すること、羽毛布団の資源品目の追加、最終処分場の追加ということである。</p> <p>意見がないようであるため、実施計画案について同意をいただきたいと思う。異議なしということよろしいか。</p>
全員	(異議なし)
会長	<p>それでは異議なしとする。</p> <p>答申について、事務局から説明をお願いする。</p>
事務局	<p>ご審議ありがとうございました。基本計画案については、修正した基本計画を確認いただき、答申とさせていただきたいと思う。答申の日付は、会長と相談の上で決定させていただく。</p> <p>また、実施計画案についても、数値の変更と項目の追加が確定した段階で、日付も含めて会長と相談の上で答申とさせていただく。</p>
会長	<p>令和6年度～令和15年度 瀬戸一般廃棄物処理基本計画案と令和6年度一般廃棄物処理実施計画案について、ご承認をいただいたということで、答申は私と事務局で取りまとめて市長に報告させていただく。</p> <p>それでは、協議事項3 その他に移る。</p>
3 その他	
会長	委員の皆さまからご意見はあるか。
委員より挨拶をいただく。	
事務局	<p>皆様の審議会委員の任期は、令和6年6月31日となっている。ごみの有料化制度の導入と、本日までの基本計画の審議が継続して行なわれていたため、任期を延長させていただいていた。長い間ご協力いただき、ありがとうございました。</p> <p>次期ですが、任期をいったん解任させていただき、5月頃に市民委員の公</p>

	<p>募を予定している。他団体の委員や学識経験者の方には、また、審議会委員をお願いすることもあるため、その際にはご相談させていただきたい。</p>
<p>4 閉会</p>	
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。皆様の多大なるご協力をもって、本日、基本計画を取りまとめることができました。本当にありがとうございました。</p> <p>10 年後に向けてこの計画が実のあるものに、目標を達成できることを祈念して、本日の会議を終了したいと思う。ありがとうございました。</p>

上記のとおり議事録を作成し、会長は記名・押印する。

令和 年 月 日

会長

_____ 印